

科目名	精神看護学概論 Introduction to Psychiatric Nursing		担当教員 (研究室番号)	犬飼さゆり (401) 木戸芳史 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	犬飼 : sayuri.inukai@mcn.ac.jp					
履修 年次	2年次 前期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (15)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	本科目は、心の健康が身近な問題であること、心の健康を保つための精神機能について理解するとともに、ライフサイクルにおける個人及び家族の精神発達やメンタルヘルス上の課題について理解することを目的としている。また、日本における精神保健医療福祉の歴史や法律・制度の変遷や日本が抱える課題、精神科領域のチーム医療について理解することも目的としている。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	C その時代の社会情勢や、人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につけている。(興味・関心・意欲)										
	関連する DP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解) E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
到達 目標	1. 精神健康が私たちの日常生活に身近なものであることを認識し、精神科看護を学習する意義や必要性を述べることができる。 2. 個人の精神機能と集団力動、精神健康を保つための機能(防衛機制、ストレスマネジメント等)について説明できる。 3. 個人及び家族の精神発達や、状況に特徴的なメンタルヘルス上の課題について理解し説明できる。 4. 日本における精神保健医療福祉の歴史や法律・制度の変遷と、現状の課題について理解し説明できる。 5. 精神科医療において患者の人権と安全を守る現在の法律及び制度を理解し、精神科領域におけるチーム医療について考えることができる。											
成績評価方法 (基準)	講義内での課題(2回:10点×2)、期末試験80点):計100点 ※講義内の課題は当該講義に出席した者だけが提出可能、科目合計点より出席状況に応じて最大10%までの減点をする。											
再試験の有無と 基準等	再試験:有(科目不合格者のうち課題が提出がされ、期末試験を受験した者)のみ再試験を実施 再試験は筆記試験とし、再試験受験者の成績評価は再試験100%とする											
教科書	精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種つながり. 南江堂. 2015. 精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア. 南江堂. 2015.											
参考書等	授業内で適宜紹介する											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と 学生への期待	精神看護学の世界へようこそ、この「精神看護学概論」は精神看護学を学んでいくための「入口」的な科目です。まずは皆さんの生活で起こっている身近な「こころの健康」や「こころの危機」から学んでいきましょう。後半では、日本の精神保健医療福祉の歴史的背景や現状や課題や、支援対象者の人権や安全を守る仕組みを学び、「精神看護方法Ⅰ、Ⅱ」「領域別実習」へとつながっていく内容になっています。											
備考	講義内の課題については、提出用紙と評価指標と一緒に配布します。点数はその評価指標に沿って算出します。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション あなたの生活と「こころの健康」 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル				・「精神看護学概論」の目的、内容、評価について確認する。 ・日常生活における「こころの健康」や「こころの危機」に関する身近な話から、精神看護を学ぶ意義や必要性を確認する。 ・「からだ」と「こころ」の関係と、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて学習する。				犬飼	講義		
2回	自我と防衛機制				・自我(自我、超自我、イド)について学習する。 ・不安から自我を守る働き(防衛機制)について学習する。				犬飼	講義		
3回	個人及び家族の発達段階とメンタルヘルス ①(周産期～乳幼児期・学童期)				・周産期～乳幼児期・学童期における個人及び家族の発達段階とメンタルヘルス上の課題について学習する。				犬飼	講義		
4回	個人及び家族の発達段階とメンタルヘルス ②(思春期・青年期～成人期・老年期)				・思春期・青年期～成人期・老年期における個人及び家族の発達段階とメンタルヘルス上の課題について学習する。 ・女性のライフサイクルにおけるメンタルヘルス上の課題について学習する。				犬飼	講義		
5回	心身相関 リエゾン精神看護				・身体疾患や治療ストレスによって精神的な症状(せん妄、抑うつ、妄想等)を起こしている方への看護について学ぶ ・リエゾン精神看護の方法と実際について学ぶ				犬飼 (学外協力者)	講義		
6回	精神保健医療福祉の歴史的背景と法律・制度の変遷				・日本の精神保健医療福祉に関する歴史的背景と法・制度の変遷について、世界的な状況も踏まえて理解する。				木戸	講義		
7回	精神保健関連法規 精神看護における基本的な人権と倫理的問題				・精神保健福祉法に規定されている、主に治療場面において患者の人権や安全を守る項目について学習する。 ・障害者総合支援法、心身喪失者等医療観察法について学習する。				木戸	講義		
8回	日本の精神保健医療福祉の現状と課題 精神科領域における他職種とチーム医療				・日本における精神保健医療福祉の現状と課題について学習する。 ・精神科領域において協働する他職種の特徴や役割と、チーム医療について学習する。				犬飼	講義		

学 習 課 題

1回目	教科書Ⅰ p. 2-13を自習。
2回目	講義内課題(10点)あり、資料等は当日配布する。教科書Ⅱ p. 86-96に関連内容あり。
3回目	教科書Ⅰ p. 48-58を自習。
4回目	教科書Ⅰ p. 59-77を自習。
5回目	教科書Ⅰ p. 79-137を自習。
6回目	教科書Ⅰ p. 31-41、p. 140-144を自習。
7回目	教科書Ⅰ p. 42-46、p. 140-158を自習。
8回目	講義内課題(10点)あり、資料等は当日配布する。教科書Ⅰ p. 15-30、p. 159-168を自習。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。